

インフルエンザ情報

国立感染症研究所感染症情報センター（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）は、「インフルエンザ流行マップ第49週（12月3日～12月9日）平成24年12月12日現在」を平成24年12月14日に公表した。

（コメント）

2012年第49週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.57（患者報告数2,832）となり、第43週以降増加が続いている。都道府県別では佐賀県（5.58）、沖縄県（2.81）、群馬県（2.66）、千葉県（1.26）、岐阜県（1.05）、大分県（1.05）、埼玉県（1.04）、山梨県（1.00）の順となっており、37都道府県で前週よりも増加が認められた。

注意報レベルを超えた保健所地域は群馬県及び佐賀県でそれぞれ1箇所認められた。警報レベルを超えた保健所地域は存在していない。

2012年第36～49週の14週間では、インフルエンザウイルスの検出は、AH3亜型（A香港型）の割合が最も多く検出されている。詳細は感染症情報センターホームページ（<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html#graph>）を参照されたい。

なお、第45週～第49週までの都道府県別の定点当たり報告数の推移【感染症情報センター発表の「感染症発生動向調査週報」等を基に機構で作成】

※定点とは、発生動向調査の観測用に選ばれた医療機関のことで、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されています。

